

平成26年度施政方針に対する各会派の質疑 (日曜議会)

※原稿は市長の答弁も含めて各議員が作成しています。

自由民主党 小金井市議団

遠藤 ①行政委員会、審議会、市長の私的諮問機関、市職員の女性比率を、小金井市男女平等基本条例に基づいた比率にしていけないか。②就学前のお子さんがあるパパ、ママの不安を軽減する有効なホームスタート事業の導入を。

市長 ①市の附属機関等が30・6%、職員が45・2%。50%に近づきたい。②親の育児不安解消に重要。活動に積極的に協力したい。

中根 ①環境と都市基盤の項目から、まちづくりで武蔵小金井駅東側小金井街道周辺はどうなるか。②東小金井駅北口土地区画整理事業は、完成期が平成24年から31年になった。これ以上変更は許されないと思うが、市長の見解は。

市長 ①道路の西側に店舗が入ると聞いている。②事業年度に向けて全力を注ぐ。生活設計がかか

民主党 小金井市議会

鈴木 ①公共施設の一斉更新問題と危機的財政状況について見解は。②保育事業者が市の担当職員と半年間面会ができないことがあったが、どう思うか。③保育園待機児童の緊急対策を講じないか。

市長 ①まさに危機的状況である。地方交付税は1億円か2億円しか来ない。財政を健全化しなければならぬ。小金井市は他市と比べて公共施設が少ないが、統廃合を考えた上、必要な施設は作っていく必要がある。学校の活用は、教育委員会と調整していく話だと思ふ。②認可、認証に限らず保育園を作るチャンスがあれば実現させてきた。半年も担当と会えないというふうなことはないよう、丁寧な対応をしていきたい。③将来の計画を立てれば物事が全て解決するという考えは持っていない。転入者を見据え対応したい。

ついでに、きちんと対応する。一方、農工大通り等では通行に危険を感じる場面もある。駐輪場整備と共に、安全への配慮が必要。路側帯の右側通行に重い罰則が課されたことの周知が十分でない。

市長 利用者ルール・マナーを守ってもらうことが基本。警察と協力して小学生への指導や乗り方講習等に対応する。道路交通法の改正は分かりやすく周知したい。

中山 ①東小金井駅周辺の更なる回遊性向上への取組は。②多くの市民が望む「名勝小金井(サクラ)」復活についての取組は。

市長 ①非常に求心力ができた。市民が何を望むのか、今までのイメージから一気に明るくなったという思いで今後も力を入れたい。②復活は我々に課せられた課題である。今年度は梶野橋から関野橋の補植で、モデル事業を継続する。

露口 財政運営は厳しい。①武蔵小金井駅南口第2地区の再開発は、第1地区の教訓を活かすべき。②福祉会館は、市民から3億円の遺贈を受け、建て替えに弾みがついた。感謝の意を表すべき。

市長 ①基本的な考えとしては、保留床を取得する考えはない。平成26年度都市計画決定を目指す。②建て替えに当たり遺贈者のお気持ちを福祉会館内に残していく。

改革連合

五十嵐 ①市財政が大変厳しい状況について「予断を許さない」等と述べている。施設白書でも、公共施設の維持に今後膨大な費用がかかる。今後、市保有資産の活用を図る方法を研究せよ。

市長 福祉会館の建て替えについて、市民だつた方からの福祉目的のご寄付を活用するという報道は確かか。また、いつまでに方針を出すのか。③市民参加型のスポーツイベント「チャレンジデー」の提案の理由、目的は。

市長 ①これまでも提案をいただいており、内部で研究してきた。土地の価格等、難しいところがあるが、常に考えていく必要がある。②警察署跡地が有力候補地である。できるだけ早く方針を出したい。③目的は市民の健康寿命と平均寿命の差を縮めること。運動を続けるための動機付けにしたい。

みんなの党・ 小金井刷新の会

百瀬 ①市民のイメージしている協働と、行政が市民に望む連携が必ずしも一致していないのではないか。②自民党の教育改革案(首長の権限強化)に関してどう考えているか。

市長 ①市民の方々にもできる部分でご協力をお願いする。特に新しい事業について考えていく必要がある。②必ずしも賛成とはならない。全てを首長が、ということには懐疑的である。

渡辺 ①今後5年、10年の財政フレームはいつ示すのか。②赤字債(臨時財政対策債)の発行を抑制しているというが、発行限度額まで借りる予算案になっている。

市長 ①平成27年度からの後期基本計画に間に合わせたい。②限度額いっぱい予算計上するが、財政運営の中で減らしていくこともあり得る。

日本共産党

関根 特定秘密保護法や集団的自衛権の合憲への解釈改憲の動きなど、戦争をする国づくりへの動きがある中、特定秘密保護法廃止に向けて努力すべき。立憲主義を否定する解釈改憲への見解を伺う。

市長 特定秘密保護法は必要な法律である。集団的自衛権は、同盟を結んでいる国々が助け合うという意味合いからも行使すべき。復したかのように述べているが、生活保護、介護、医療、年金など、あらゆる分野の切下げが行われようとしている。消費税増税と社会保障切下げによる市民への影響について、どう考えているのか。

市長 アベノミクスの政策は進めていかなければならない。社会保障との一体改革ということでは、消費税は上げざるを得ない。

板倉

施政方針には市民の暮らしの実態が一切語られていない。暮らしを守る側に立つというならば、増税を行うのではなく負担を軽減する取組を行い、負担を強いる国の悪政への防波堤となるべき。

市長 持続可能な社会、制度としていくためには、市民にご負担をいただくところはご負担をいただくかなければならない。

森戸 市は今後5年以内に再開発や庁舎建設、ごみ処理施設建設など7つの大型公共事業に対して約200億円の市費を投じる計画である。蛇の目シン工場跡地に軽量鉄骨型の暫定庁舎を建設することによって財源が生まれ、リース庁舎も早期に解消できる。その財源を市民への支援政策に回すべき。

市長 意見として何うがそれを実施するという事にはならない。

市民自治「がねい」

片山 今の時代に平和の日の制定は重要。市民参加の平和事業を。①現政権の集団的自衛権行使の容認は。②武器輸出三原則の転換は。③米軍基地問題は。④子どもの意見の反映や、原発事故と避難者の窮状を踏まえた平和事業を。

市長 ①集団的自衛権の行使は必要。②武器輸出には懐疑的。③沖繩の基地負担軽減が必要。④あまり大きな期待を持たれると困る。

小金井市議会 公明党

渡辺 行財政改革市民会議の中間答申では、行革の遅れを指摘し、受益者負担の適正化と直営施設の民営化を取り上げている。市長は、限られた行財政資源を効果的に活用するため、全庁を挙げて健全な財政運営に取り組むとしているが、答申をどう受け止めるか。

市長 真摯に取り組む。職員を減らしたが、残業が増えている。更なる行革に努めたい。

小林 ①平和への意識を子ども達に繋いでいく責務があると思うが、どう考えるか。②根本的な待機児童解消に向けて、公立保育園の負担や経費の見直しに目を向ける必要がある。

市長 ①戦争の悲惨さが風化してきた。世界の平和を願い、まず足元を固めることが必要である。②ご指摘のとおりだと思う。

生活者 ネットワーク

林 ①歩いて行ける距離にも商店等が必要。全体のまちづくりへの考え方は。②高次脳機能障がいのはか、障がい全般への施策は。③学童や給食調理等、直営の良さを市民の知恵を活かして残すべき。

市長 ①必要な施設は作りたいと思うが難しい。②社会に出た後や親なき後を行政がどうカバーするかが重要。③直営の良さは引き継ぎ、市民の声は聞いていく。

田頭 ①いじめや体罰で不登校となる子どもがいる。体罰を許さないことを宣言等で明確にうたうべき。見解は。②小金井平和の日が制定されるが、平和行事参加の旅はなくさず、毎年1校でも広島へ修学旅行ができるようにせよ。

市長 ①体罰は絶対あってはいけない。②平和行事参加の旅は、継続か今後考える。市が実施せずとも行ける。自分で行けば良い。

小金井を おもしくす会

白井 市民参加の推進について。小学校給食民間委託の際、市民参加条例に沿い、決定前に説明会をすべきだった。市民参加は信頼関係が大事で、不信を募らせる環境を作ってはならない。どう思うか。

市長 市民の意見を聴くことは非常に重要である。ただ、市の決定をどの時点で捉えるか、そのプロセスは非常に難しいと思つている。意見として聴いておく。

いざねご市民会議

斎藤 ①市の財政状況は一定程度改善されたが、まだ多摩地域最下位。更なる改善を求める。②保育園、特別養護老人ホームの増設を求める。③新庁舎の建設スケジュールは予定どおりか。

市長 ①人件費削減は進んだが、財政規模からすると比率が高い。②国・都用地等の活用、社福等の運営を考えたい。③予定どおり。